

山梨南中学校

『真理を求め、自ら考え、正しく判断し、進んで学習する生徒の育成』

～探求心をはぐくむ学習活動の推進～

I 主題設定の理由

価値観が多様化し、情報も氾濫する現在、学校として、学校だからこそできる「学び」や、教科の授業の中だからこそできる「学び」を考えていくことの中に、新たな研究の方向を見いだす必要があると考えた。関心をもてたり、興味をひかれるものを見付けたりすることができれば、ともに学ぶ仲間と互いの考えをかかわらせながら、考えを練り合い、磨き合い、高め合うことができる。各教科において基礎・基本の定着を図り、それらをもとに思考したり、判断したり、表現しながら課題解決的な学習を行い、探究心をはぐくむことが大切であると考えた。

こうした探求心をはぐくむ学習活動を推進することにより、真理を求め、自ら考え、正しく判断し、進んで学習する生徒が育成される。こうした生徒の育成を図るには、昨年度本校の課題として取り上げた「思考力・判断力・表現力・問題解決的な資質や能力の育成」を図る授業づくりを継続研究とし、昨年度まで継続的に取り組んできた「指導と評価の一体化」においては「フィードバックを充実させることによる基礎・基本の定着」を図る授業づくりについて研究することとした。

II 研究の内容

1 研究の具体的内容と方法

- (1) 統計資料からの課題をもとにした授業改善
 - ・各教科で指摘されている指導に関する工夫・改善の推進
 - ・課題とされる思考力・判断力・表現力をはぐくむ課題解決的な授業の推進
 - ・CRT（目標基準準拠検査）による検証
 - ・アンケートによる課題把握と検証
- (2) 評価内容及び評価方法の改善
 - ・各教科における評価内容の改善
 - ・評価方法の改善
- (3) 校内研究会及び地区研究会での研究授業の実施
 - ・校内研究会における全教科での実施
 - ・部会研究会での研究授業の実施
 - ・実施した研究授業をもとにした指導上の課題の検討
- (4) 他校研究発表会・講演会等への参加

2 研究内容

- (1) 思考力・判断力・表現力・問題解決的な資質や能力の育成
 - ① 思考・判断・表現などが必要になる課題解決的な学習の推進
 - ・学習形態の工夫も含め、考える時間を確保し、学んだことや経験から判断し、表現することを通して、課題を解決する。
 - ② 自分自身の生活との関係で考えたり、表現したりする授業の工夫
 - ・自分とのかかわりで学習対象に接し、自分の考えや感情を表現することによって関心や意欲を高め、態度の育成を図る授業の工夫
 - ③ 発表や話し合いなどにより、学びの質を高める指導の工夫
 - ・自分の考えと他者の考えを比較検討するなかで、確かな学びとなるような指導の工夫
- (2) 指導と評価の一体化を図り、フィードバックを充実させることによる基礎・基本の定着
 - ① 生徒の発言やつまずきの分析をもとにした適切な支援
 - ・生徒の発言・発想のもとになっている知識を生かすような支援
 - ・生徒の学習上のつまずきの分析と指導の工夫
 - ② 評価内容及び評価方法の改善
 - ・定期テスト、単元末テストなどの出題についての検討
 - ・実技テスト、パフォーマンス・テストなどの実技テストについての検討
 - ・評価にかかわる問題点の検討

III 成果と課題

研究授業および研究会での検討を通して、発問や支援の在り方を意識した授業づくりすることにより、学びの主体である生徒がどのような目的意識で学習活動に取り組んでいるかを教師が深く考えるようになってきている。

思考力・判断力・表現力・問題解決的な資質や能力の育成を図るため、導入を工夫して、生活との関連や既習事項との関連を意識した授業を推進してきた。ペアやグループなど学習形態を工夫し、生徒同士が教え合い、学び合う授業づくりや、学びの深まりが感じられる授業づくりに取り組みはじめたが、学習課題の設定が生徒の実態に合ったものになっているか、その課題が教科の本質をとらえたものになっているか、といったことを吟味し、それぞれの教科の学習に自主的に取り組めるような指導を心がけていく必要がある。

指導と評価の一体化を図り、基礎・基本の定着を図ることについては、技能や知識の習得において、基本的な技能や知識の定着のための工夫や個に応じた適切な指導の必要性を再認識している。今後、さらに生徒の実態に合った適切な指導を心がけ、基礎・基本の定着を図っていきたい。また、学習に入る際のガイダンスを充実させ、学習内容や学習目標を明確にすることで学習への関心・意欲を高め、相互評価・自己評価やポートフォリオの活用等により自分の学習を振り返ることで進んで学習する態度が身につけられるようにしたい。

(研究主任 辻 純二)